

## シオカラトンボ

中型のトンボで、羽化直後はオスメスともに黄色っぽい体に黒や白の斑紋がありますが、オスは成熟するにつれて、腹部を中心に塩が吹いたように青白くなります。メスはあまり変わらず、黄色い部分が地味な黄土色になり、俗に「ムギワラトンボ」と呼ばれます。

4月から11月初めころまで見られます。池や沼、水路、田んぼや公園の池など、様々な水辺に見られます。

産卵はメスが単独で、飛びながら水面を規則的にたたくように行います。その際にオスがメスの周りを飛び回って守ることがあります。

### 富士市での現状

各地の池沼、水路、田んぼ、公園の池などで見られます。その他にも、市街地でも見かけることがあります。

また、市内の調査した小学校プールから幼虫が見つかりました。



シオカラトンボを確認したメッシュ

